

医療・福祉問題研究会会報

NO. 124
2015.10.9

医療・福祉問題研究会 第 120 回例会

日 時：10月31日（土）15:00～17:00

会 場：松ヶ枝福祉館4F 集会室（金沢市高岡町7番25号）

テーマ：社会保障・税一体改革は医療・介護制度をどう変えるか

—提供体制改革を中心とした動向と課題—

報告者： 工藤浩司さん（石川県保険医協会事務局長）

社会保障・税一体改革は、社会保障のあらゆる分野において公的給付抑制策を推し進めています。医療介護領域もその例外ではありません。昨年の「医療介護綜合法」、そして、今年の「医療保険制度改革関連法」により、患者・利用者の負担増につながる法改正が行われています。介護保険における一定以上所得者の利用者負担引上げ、入院時の食事に係る自己負担の引上げなどです。

一方、これら「目に見える」負担増とは別に、給付範囲の縮小、提供体制の効率化により、公的保険給付を総体として抑制させる改革も進行中です。例えば、市町村国保財政を都道府県単位にするという「国民皆保険」実現以来最大の国保改革が今後行われます。また、6月の一般紙各紙で1面に取り上げられた「病床数最大20万床削減」という記事を見て、驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

今回の例会では、社会保障・税一体改革における医療介護制度改革の全体像を整理した上で、特に改革内容がわかりにくい「提供体制改革による給付抑制」について、これまでの制度改正動向を踏まえて、ともに考えていく機会にできればと考えています。皆様の参加をお待ちしています。

※ 当日、例会に先立ち13時から運営委員会を開催します。ご都合のつく方はあわせてご参加ください。

総会のまとめ

2015年度研究会総会を開催ー節目の年にふさわしい活動に向けて活発に議論

去る8月1日に、金沢市近江町交流プラザで2015年度の総会を開催しました。伍賀道子さんの司会のもと、最初に横山から「2014年度の活動報告と2015年度の活動計画(案)」について、次いで、広田さんから「2014年度の決算と2015年度の予算(案)」について、最後に、河野さんから「雑誌会計」について、それぞれ報告・提案があり、そのあと、一括して、質疑・討論を行いました。

討論では、他団体との連携に関して、あわづ温泉地域での包括的な生活実態調査を、実行委員会を設けて実施する計画がある、珠洲調査の経験を踏まえて研究会として協力的に協力してほしいとの提案がありました。また、次号の『医療・福祉研究』で、「介護と障害」について取り上げ、「65歳の力ベ」について検討してほしい、地域包括ケア、保育なども取り上げたらどうかなどの意見が出ました。さらに「会報」について、行事の案内や報告に加えて、会員からの声を紹介したらどうかとの提案がありました。来年度30周年記念を計画する活動計画案については、研究会のあり方や将来展望を問う機会にすべきとの指摘がありました。

来年度は、3月発行予定の『医療・福祉研究』が25号の節目を迎えます。そして秋には、研究会30周年を迎えます。総会で出された意見を活動に反映させ、節目の年にふさわしい、新たな飛躍へつなげる活動を展開できればと考えています。

総会の後、総会記念企画として、伍賀一道金沢大学名誉教授から、「「非正規大国」日本の改革をめざして」と題して記念講演をしていただきました(その内容については、別途紹介します)。(横山)

総会記念講演報告

「非正規大国」日本の改革をめざして」を聴いて

金沢星稜大学経済学部 4 回生

2015年8月1日(土)、金沢近江町交流プラザにおいて、伍賀一道先生の講演会が行われました。会場には学生や年配の方等、たくさんの方が参加していました。講演会では、昨今の日本における不安定な雇用や労働法の改正による問題が顕在化する中で、もう一度労働とは何かを考えさせられるお話をうかがいました。

まず、「非正規大国」とはどのような現状をいうのか、というお話から始まりました。「非正規大国」とは、「失業率が低いのに貧困率が高い国」と定義されます。つまり、働いているのに貧困者が多いという矛盾です。このことは、様々なデータからも実証されています。そして、2014年の労働力調査ではワーキングプアと呼ばれる所得層の人々が雇用者数の35%を記録するという事態も発生しています。非正規雇用の方々の年所得額人数を見ても、圧倒的に年間所得が200万円未満のワーキングプア層が多くを占めています。伍賀先生はこのワーキングプアの中には、「非正規ではない正社員の人も含まれるのでは」という見解を示されました。

私たちがよく耳にする「正規」、「非正規」とは明確な定義はなく、厳密に定義をすることは困難です。正社員という言葉も1970半ばに初めて登場したようで、最近定着した言葉だということがわかります。

正社員と非正規では大きな隔たりができています。ここでいう隔たりとは金銭のことだけではなく、正社員と非正規社員とのコミュニケーションにまで及ぶものです。ボーナスの話、職場の飲み会等でギスギスしてしまうことがあるなど。様々な人と人との関係が重要である労働の場において、個人ではどうしてもできない部分で苦しむのはとても辛いことのはずです。その解決策として、伍賀先生は「つながる」ことの回復をあげられています。そのひとつの形が労働組合であるとお話くださいました。

そして国家の役割として、求められる労働移動策（労働者が自由に働ける）に関する支援策が必要です。公的職業訓練制度の充実、訓練期間中の生活保障、ハローワークの体制充実などをあげられていました。現在の「雇用流動化政策」では、企業目線で考えられており、労働者の雇用状態の安定には繋がらないのだろうということが分かります。

社会保障を学ぶひとりの学生として、そしてこれから社会人になる者として、とても勉強になることばかりでした。特に正社員と非正規社員の中で起こる人間関係の悪化のお話は、私がまだ学生であるため気づけない点を教えていただけました。個人の生活に関する金銭の問題だけでなく、他者と関わっていくうえでも、労働は大きなウェイトを占めています。まだまだ考えることは多くあり、勉強を続けなければ、という思いを新たにしています。講演会で、様々な気づきを得ることができました。伍賀先生、貴重なお話をありがとうございました。



会員レポート 自治体学校 in 金沢の現地分科会の報告

道見 藤治

第57回自治体学校 in 金沢が7月25～27日に金沢市を中心に執り行なわれました。10年ぶりの金沢での開催で、これが3回目です。私は今回が初めての参加でした。何も分からない未経験のことでしたが、持ち前のお節介の性分から、何か与しようと思っていました。

私の提唱した「障がい」分野の分科会としては、現地分科会（バスで開催地域の視察をする移動分科会）であればさせてもらえることが、年が明けてから決まりました。そこで検討を始めましたが、目ぼしい事業所を一日で廻りきらねばならず、紆余曲折の末、2月下旬にコースは固定できました。金沢市障害者計画の報告も私のほうからさせてもらいたく、七尾市の最後の訪問先から帰るバスの車中でそれを行ないました。

この現地分科会は企てたことはよいが、参加者が集まるか当初から危ぶまれていました。大型バス1台貸切で定員35名の参加を募りました。応募は一時31名まで伸びましたが、キャンセルもあり当日の参加は28名となりました。数としてはますますの健闘ぶりです。

た。参加は何々市議会の議員さんが多かったです。スタッフは私も含めて3名でした。

「障がい」分科会のもつ意義ですが、障害者権利条約が批准された今、地方自治でも障害の問題が避けて通れなくなっていることに着目しなければなりません。この分科会のテーマは「障がいのある人とともに生き生き・まちづくり」としました。これからは障がいのある人が地域で暮らし、そして主人公として生きていくまちづくり、それを保障する社会の構築が求められています。そのことを訴えるために地方自治分野に対して果敢にもクサビを打つことができたかなと、一仕事を終えた感想です。

事後に母親大会に参加して、障がいの分科会の体験を発言して分かったことは、当事者が地域でそして豊かに生活を営むには、社会の側より、努力と工夫を講じなければならないのだなと気づきました。

このような現地を視察することは大きな意味合いをもつので、来年以降にも定番化してもらいたいと私は思っています。

この会報記事では、現地分科会の内容紹介は控えさせてもらい、形式的なことを示すことに留まりました。実際の訪問先のことなどについては、医療・福祉研究第25号に執筆したいと思いますので悪しからず。

医療福祉問題研究会☆会員紹介コーナー vol.1

- ①氏名：村田美恵子（会報担当）
- ②所属：城北病院 医療ソーシャルワーカー
- ③血液型：O型
- ④好きな食べ物：最近はベトナム料理に夢中です♪
- ⑤好きな季節：秋と冬。空気が乾いているので天然パーマが落ち着いてくれます。
- ⑥休日の過ごし方：最近はアトリオや四高記念公園での催し物によく出没しています。
- ⑦最近一番笑った出来事：駄菓子屋の店主さんに 10円のお菓子の消費税を聞くと、得意気な顔で「20円でいいよ！！」…まさかの倍！！
- ⑧これから挑戦してみたい事：お気に入りのクロスバイクで、県内のサイクリングロード巡りをしてみたい。
- ⑨自分の性格を一言で表すと：『泣き虫で負けず嫌い』
- ⑩最後に、医療福祉問題研究会についてメッセージをどうぞ！

1年半ほど前から医療福祉問題研究会に参加し始め、現在は会報編集を担当させて頂いています。研究会の魅力は、医療と福祉に関連する課題について、例会を通して様々な視点から学ぶ事が出来るところにあると思います。

今後も読みやすい会報づくりを頑張ります。みなさんよろしくお願いします。

今後も続々と会員紹介を掲載していきます。
会員の皆様のご協力をお願いいたします。